



82	施設名	南部共同調理場
	部局(課)名	教育部（給食センター）
	所在地	能代市字藤山3番地
	施設面積	1,613.00㎡
	建設年度	H22

1 施設の概要

構造・階数	鉄骨造2階建	台帳価格	599,540,000円
行政・普通財産	行政財産	耐用年数 到来年度	H22+耐用年数31年×1.2=R29

2 管理に関する基本的な方針

利用者数等とフルコスト	－ 104,856千円		
キャッシュフローと老朽化度	高負担築浅		
基本的な方針	縮減対象	機能維持のための修繕を実施しながら施設のあり方について検討	
「基本的な方針の考え方」			
法律に基づき設置した学校給食を担う施設であることから、学校給食衛生管理基準を遵守するために必要な措置を講じつつ、今後の児童・生徒数の動向も踏まえ長寿命化や集約化を検討する。			

※集約・複合化の検討について

今後の児童・生徒数の動向を踏まえ長寿命化や集約化を検討する。

※公民連携の検討について（指定管理者制度、公設民営方式、包括的民間委託など）

今後の使用用途により、公民連携も検討する。

※民間等への譲渡の検討について

譲渡申請があった場合は検討する。

3 目標使用年数 [21～30年以内]

閉鎖後は他の用途への使用を検討する。
他の施設への活用を見込み、計画期間中は継続的に使用することを目標とする。

4 管理上の課題等

老朽化が進捗しており、使用できる状況を維持するためには大規模改修が必要となる。

5 管理に関する実施方針

施設の利活用の検討結果により適正な維持管理等に努める。

6 管理に関する実施計画

特になし。

修繕等の実績及び今後の計画

9ーその他教育施設No.82

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
H29	コンテナ修繕、給湯加圧ポンプ修繕等	1,235	実績
H30	炊飯釜再フッ素樹脂加工等	699	実績
R1	真空冷却機修繕、食器保管庫床修繕等	2,320	実績
R2	—	0	
R3	—	0	
R4	—	0	
R5	—	0	
R6	—	0	
R7	—	0	
R8	—	0	
R9	—	0	
R10	—	0	
R11	—	0	
合 計		4,254	

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

【平成29年度～令和元年度】

【支出】	平成29年度	平成30年度	令和元年度	備考
維持管理費	24,259	24,476	24,946	
修繕費	1,235	699	2,320	
光熱水費等	23,024	23,777	22,626	
事業運営費	55,585	58,453	60,125	
合 計	79,844	82,929	85,071	
【収入】	平成29年度	平成30年度	令和元年度	備考
使用料収入				
その他				
合 計	0	0	0	
【利用者等】	平成29年度	平成30年度	令和元年度	備考
利用者数等	0	0	0	

※修繕費：改修・修繕にかかる費用

※光熱水費等：ランニングコスト

※事業運営費：人件費、運営業務委託費等



83	施設名	北部共同調理場
	部局(課)名	教育部（給食センター）
	所在地	能代市向能代字トトメキ106番地1
	施設面積	621.00㎡
	建設年度	H12

1 施設の概要

構造・階数	鉄骨・鉄筋コンクリート造	台帳価格	412,440,000円
行政・普通財産	行政財産	耐用年数 到来年度	H12+耐用年数31年×1.2=R19

2 管理に関する基本的な方針

利用者数等とフルコスト	－ 46,332千円	
キャッシュフローと老朽化度	高負担築浅	
基本的な方針	縮減対象	機能維持のための修繕を実施しながら施設のあり方について検討
「基本的な方針の考え方」		
法律に基づき設置した学校給食を担う施設であることから、学校給食衛生管理基準を遵守するために必要な措置を講じつつ、今後の児童・生徒数の動向も踏まえ長寿命化や集約化を検討する。		

※集約・複合化の検討について

今後の児童・生徒数の動向を踏まえ長寿命化や集約化を検討する。

※公民連携の検討について（指定管理者制度、公設民営方式、包括的民間委託など）

今後の使用用途により、公民連携も検討する。

※民間等への譲渡の検討について

譲渡申請があった場合は検討する。

3 目標使用年数 [21～30年以内]

閉鎖後は他の用途への使用を検討する。
他の施設への活用を見込み、計画期間中は継続的に使用することを目標とする。

4 管理上の課題等

老朽化が進捗しており、使用できる状況を維持するためには大規模改修が必要となる。

5 管理に関する実施方針

施設の利活用の検討結果により適正な維持管理等に努める。

6 管理に関する実施計画

特になし。

修繕等の実績及び今後の計画

9ーその他教育施設No.83

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
H29	バコティンヒーター制御盤改造修繕等	1,844	実績
H30	オイルタンク取替え、給水ポンプ交換等	1,281	実績
R1	重量電動シャッター修繕、蒸気ボイラー修繕等	649	実績
R2	—	0	
R3	—	0	
R4	—	0	
R5	—	0	
R6	—	0	
R7	—	0	
R8	—	0	
R9	—	0	
R10	—	0	
R11	—	0	
合 計		3,774	

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

【平成29年度～令和元年度】

【支出】	平成29年度	平成30年度	令和元年度	備考
維持管理費	11,122	10,868	10,032	
修繕費	1,844	1,281	649	
光熱水費等	9,278	9,587	9,383	
事業運営費	20,976	22,058	22,689	
合 計	32,098	32,926	32,721	
【収入】	平成29年度	平成30年度	令和元年度	備考
使用料収入				
その他				
合 計	0	0	0	
【利用者等】	平成29年度	平成30年度	令和元年度	備考
利用者数等	0	0	0	

※修繕費：改修・修繕にかかる費用

※光熱水費等：ランニングコスト

※事業運営費：人件費、運営業務委託費等



84	施設名	二ツ井共同調理場
	部局(課)名	教育部（給食センター）
	所在地	能代市二ツ井町字上台25番地1
	施設面積	824.00㎡
	建設年度	H21

1 施設の概要

構造・階数	鉄骨造 2 階建	台帳価格	353,680,000円
行政・普通財産	行政財産	耐用年数 到来年度	H21+耐用年数31年×1.2=R28

2 管理に関する基本的な方針

利用者数等とフルコスト	－ 52,473千円		
キャッシュフローと老朽化度	高負担築浅		
基本的な方針	縮減対象	機能維持のための修繕を実施しながら施設のあり方について検討	
「基本的な方針の考え方」			
法律に基づき設置した学校給食を担う施設であることから、学校給食衛生管理基準を遵守するために必要な措置を講じつつ、今後の児童・生徒数の動向も踏まえ長寿命化や集約化を検討する。			

※集約・複合化の検討について

今後の児童・生徒数の動向を踏まえ長寿命化や集約化を検討する。

※公民連携の検討について（指定管理者制度、公設民営方式、包括的民間委託など）

今後の使用用途により、公民連携も検討する。

※民間等への譲渡の検討について

譲渡申請があった場合は検討する。

3 目標使用年数 [21～30年以内]

閉鎖後は他の用途への使用を検討する。
他の施設への活用を見込み、計画期間中は継続的に使用することを目標とする。

4 管理上の課題等

老朽化が進捗しており、使用できる状況を維持するためには大規模改修が必要となる。

5 管理に関する実施方針

施設の利活用の検討結果により適正な維持管理等に努める。

6 管理に関する実施計画

特になし。

修繕等の実績及び今後の計画

9ーその他教育施設No.84

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
H29	電解次亜水生成装置修繕、シャッター修繕等	734	実績
H30	インフラボックス修繕、パススルー冷蔵庫修繕等	1,317	実績
R1	電解装置電磁弁交換修繕、乾燥機修繕等	578	実績
R2	—	0	
R3	—	0	
R4	—	0	
R5	—	0	
R6	—	0	
R7	—	0	
R8	—	0	
R9	—	0	
R10	—	0	
R11	—	0	
合 計		2,629	

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

【平成29年度～令和元年度】

【支出】	平成29年度	平成30年度	令和元年度	備考
維持管理費	10,618	11,681	10,172	
修繕費	734	1,317	578	
光熱水費等	9,884	10,364	9,594	
事業運営費	28,317	29,778	30,630	
合 計	38,935	41,459	40,802	
【収入】	平成29年度	平成30年度	令和元年度	備考
使用料収入				
その他				
合 計	0	0	0	
【利用者等】	平成29年度	平成30年度	令和元年度	備考
利用者数等	0	0	0	

※修繕費：改修・修繕にかかる費用

※光熱水費等：ランニングコスト

※事業運営費：人件費、運営業務委託費等



85	施設名	旧仁鮎小学校
	部局(課)名	教育部（教育総務課）
	所在地	仁鮎字後山52番地1外
	施設面積	2,296.00㎡
	建設年度	S4

※No.11仁鮎分館含む

1 施設の概要

構造・階数	木造 2階建	台帳価格	217,595,000円
行政・普通財産	行政財産	耐用年数到来年度	S4＋耐用年数24年×1.2＝S33

2 管理に関する基本的な方針

利用者数等とフルコスト	181人 191千円	
キャッシュフローと老朽化度	低負担老朽	
基本的な方針	廃止	解体を予定
「基本的な方針の考え方」 施設は耐用年数を61年経過している。 現在、体育館は地域住民が活用している。 大きな改修費用を要する場合は解体を検討する。		

※集約・複合化の検討について

老朽化が進んでおり、集約・複合化は検討していない。

※公民連携の検討について（指定管理者制度、公設民営方式、包括的民間委託など）

公民連携は検討していない。

※民間等への譲渡の検討について

譲渡申請があった場合は検討する。

3 目標使用年数 [11～20年以内]

今後の体育館の使用期間を10年と見込み、11～20年以内の解体を目標とする。

4 管理上の課題等

老朽化が進捗しており、改修が必要となることが見込まれる。

5 管理に関する実施方針

活用の方向が見出せない施設については順次解体を検討する。
現在、活用されている施設についても、防犯や安全面で周辺への影響を来たさぬよう、必要最低限の維持補修に留め、大きな改修費用を要することとなった場合は解体を検討する。

6 管理に関する実施計画

特になし。

修繕等の実績及び今後の計画

9ーその他教育施設No.85

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
H29	—	0	
H30	—	0	
R1	—	0	
R2	—	0	
R3	—	0	
R4	—	0	
R5	—	0	
R6	—	0	
R7	—	0	
R8	—	0	
R9	—	0	
R10	—	0	
R11	—	0	
合 計		0	

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

【平成29年度～令和元年度】

【支出】	平成29年度	平成30年度	令和元年度	備考
維持管理費	107	2,198	55	
修繕費	22	2,158	0	
光熱水費等	85	40	55	
事業運営費	224	127	136	
合 計	331	2,325	191	
【収入】	平成29年度	平成30年度	令和元年度	備考
使用料収入				
その他				
合 計	0	0	0	
【利用者等】	平成29年度	平成30年度	令和元年度	備考
利用者数等	494	220	181	体育館利用者数

※修繕費：改修・修繕にかかる費用

※光熱水費等：ランニングコスト

※事業運営費：人件費、運営業務委託費等



86	施設名	旧種梅小学校
	部局(課)名	教育部(教育総務課)
	所在地	種字下樋ノ口15番地1
	施設面積	750.00㎡
	建設年度	S27

※No.13種梅分館含む

1 施設の概要

構造・階数	木造 平屋建	台帳価格	71,250,000円
行政・普通財産	行政財産	耐用年数 到来年度	S27+耐用年数24年×1.2=S56

2 管理に関する基本的な方針

利用者数等とフルコスト	128人 355千円	
キャッシュフローと老朽化度	低負担老朽	
基本的な方針	廃止	解体を予定
「基本的な方針の考え方」 施設は耐用年数を38年経過している。 現在、体育館は地域住民が活用している。 大きな改修費用を要する場合は解体を検討する。		

※集約・複合化の検討について

老朽化が進んでおり、集約・複合化は検討していない。

※公民連携の検討について（指定管理者制度、公設民営方式、包括的民間委託など）

公民連携は検討していない。

※民間等への譲渡の検討について

譲渡申請があった場合は検討する。

3 目標使用年数 [11～20年以内]

今後の体育館の使用期間を10年と見込み、11～20年以内の解体を目標とする。

4 管理上の課題等

老朽化が進捗しており、改修が必要となることが見込まれる。

5 管理に関する実施方針

活用の方向が見出せない施設については順次解体を検討する。
現在、活用されている施設についても、防犯や安全面で周辺への影響を来たさぬよう、必要最低限の維持補修に留め、大きな改修費用を要することとなった場合は解体を検討する。

6 管理に関する実施計画

特になし。

修繕等の実績及び今後の計画

9ーその他教育施設No.86

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
H29	—	0	
H30	—	0	
R1	—	0	
R2	—	0	
R3	—	0	
R4	—	0	
R5	—	0	
R6	—	0	
R7	—	0	
R8	—	0	
R9	—	0	
R10	—	0	
R11	—	0	
合 計		0	

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

【平成29年度～令和元年度】

【支出】	平成29年度	平成30年度	令和元年度	備考
維持管理費	29	325	219	
修繕費	6	297	146	
光熱水費等	23	28	73	
事業運営費	224	127	136	
合 計	253	452	355	

【収入】	平成29年度	平成30年度	令和元年度	備考
使用料収入				
その他				
合 計	0	0	0	

【利用者等】	平成29年度	平成30年度	令和元年度	備考
利用者数等	213	117	128	体育館利用者数

※修繕費：改修・修繕にかかる費用

※光熱水費等：ランニングコスト

※事業運営費：人件費、運営業務委託費等



87	施設名	旧田代小学校
	部局(課)名	教育部（教育総務課）
	所在地	田代字泥ノ木岱212番地
	施設面積	1,204.00㎡
	建設年度	S24

※No.10田代分館含む

1 施設の概要

構造・階数	木造 2階建	台帳価格	170,830,000円
行政・普通財産	行政財産	耐用年数 到来年度	S24＋耐用年数24年×1.2＝S53

2 管理に関する基本的な方針

利用者数等とフルコスト	31人	179千円
キャッシュフローと老朽化度	低負担老朽	
基本的な方針	廃止	解体を予定
「基本的な方針の考え方」 施設は耐用年数を41年経過している。 現在、体育館は地域住民が活用している。 大きな改修費用を要する場合は解体を検討する。		

※集約・複合化の検討について

老朽化が進んでおり、集約・複合化は検討していない。

※公民連携の検討について（指定管理者制度、公設民営方式、包括的民間委託など）

公民連携は検討していない。

※民間等への譲渡の検討について

譲渡申請があった場合は検討する。

3 目標使用年数 [10年以内]

今後の体育館の使用期間を10年以内と見込み、10年以内の解体を目標とする。

4 管理上の課題等

老朽化が進捗しており、改修が必要となることが見込まれる。

5 管理に関する実施方針

活用の方向が見出せない施設については順次解体を検討する。
現在、活用されている施設についても、防犯や安全面で周辺への影響を来たさぬよう、必要最低限の維持補修に留め、大きな改修費用を要することとなった場合は解体を検討する。

6 管理に関する実施計画

特になし。

修繕等の実績及び今後の計画

9ーその他教育施設No.87

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
H29	—	0	
H30	—	0	
R1	—	0	
R2	—	0	
R3	—	0	
R4	—	0	
R5	—	0	
R6	—	0	
R7	—	0	
R8	—	0	
R9	—	0	
R10	—	0	
R11	—	0	
合 計		0	

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

【平成29年度～令和元年度】

【支出】	平成29年度	平成30年度	令和元年度	備考
維持管理費	97	30	43	
修繕費	65	3	0	
光熱水費等	32	27	43	
事業運営費	224	127	136	
合 計	321	157	179	
【収入】	平成29年度	平成30年度	令和元年度	備考
使用料収入				
その他				
合 計	0	0	0	
【利用者等】	平成29年度	平成30年度	令和元年度	備考
利用者数等	33	15	31	体育館利用者数

※修繕費：改修・修繕にかかる費用

※光熱水費等：ランニングコスト

※事業運営費：人件費、運営業務委託費等



88	施設名	旧切石小学校
	部局(課)名	教育部（教育総務課）
	所在地	切石字大倉175番地外
	施設面積	1,841.00㎡
	建設年度	S27

※No.8切石分館含む

1 施設の概要

構造・階数	木造 2階建	台帳価格	174,510,000円
行政・普通財産	行政財産	耐用年数 到来年度	S27＋耐用年数24年×1.2＝S56

2 管理に関する基本的な方針

利用者数等とフルコスト	623人 344千円	
キャッシュフローと老朽化度	低負担老朽	
基本的な方針	廃止	解体を予定
「基本的な方針の考え方」 施設は耐用年数を38年経過している。 現在、体育館は地域住民が活用している。 大きな改修費用を要する場合は解体を検討する。		

※集約・複合化の検討について

老朽化が進んでおり、集約・複合化は検討していない。

※公民連携の検討について（指定管理者制度、公設民営方式、包括的民間委託など）

公民連携は検討していない。

※民間等への譲渡の検討について

譲渡申請があった場合は検討する。

3 目標使用年数 [11～20年以内]

今後の体育館の使用期間を10年と見込み、11～20年以内の解体を目標とする。

4 管理上の課題等

老朽化が進捗しており、改修が必要となることが見込まれる。

5 管理に関する実施方針

活用の方向が見出せない施設については順次解体を検討する。
現在、活用されている施設についても、防犯や安全面で周辺への影響を来たさぬよう、必要最低限の維持補修に留め、大きな改修費用を要することとなった場合は解体を検討する。

6 管理に関する実施計画

特になし。

修繕等の実績及び今後の計画

9ーその他教育施設No.88

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
H29	—	0	
H30	—	0	
R1	—	0	
R2	—	0	
R3	—	0	
R4	—	0	
R5	—	0	
R6	—	0	
R7	—	0	
R8	—	0	
R9	—	0	
R10	—	0	
R11	—	0	
合 計		0	

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

【平成29年度～令和元年度】

【支出】	平成29年度	平成30年度	令和元年度	備考
維持管理費	239	187	208	
修繕費	113	65	103	
光熱水費等	126	122	105	
事業運営費	224	127	136	
合 計	463	314	344	
【収入】	平成29年度	平成30年度	令和元年度	備考
使用料収入				
その他				
合 計	0	0	0	
【利用者等】	平成29年度	平成30年度	令和元年度	備考
利用者数等	837	585	623	体育館利用者数

※修繕費：改修・修繕にかかる費用

※光熱水費等：ランニングコスト

※事業運営費：人件費、運営業務委託費等



89	施設名	旧天神小学校
	部局(課)名	教育部（教育総務課）
	所在地	小繫字天神道上38番地1外
	施設面積	509.00㎡
	建設年度	S25

※No.12天神分館含む

1 施設の概要

構造・階数	木造 平屋建	台帳価格	46,570,000円
行政・普通財産	行政財産	耐用年数 到来年度	S25＋耐用年数24年×1.2＝S54

2 管理に関する基本的な方針

利用者数等とフルコスト	598人 220千円	
キャッシュフローと老朽化度	低負担老朽	
基本的な方針	廃止	解体を予定
「基本的な方針の考え方」 施設は耐用年数を40年経過している。 現在、体育館は地域住民が活用している。 大きな改修費用を要する場合は解体を検討する。		

※集約・複合化の検討について

老朽化が進んでおり、集約・複合化は検討していない。

※公民連携の検討について（指定管理者制度、公設民営方式、包括的民間委託など）

公民連携は検討していない。

※民間等への譲渡の検討について

譲渡申請があった場合は検討する。

3 目標使用年数 [11～20年以内]

今後の体育館の使用期間を10年と見込み、11～20年以内の解体を目標とする。

4 管理上の課題等

老朽化が進捗しており、改修が必要となることが見込まれる。

5 管理に関する実施方針

活用の方向が見出せない施設については順次解体を検討する。
現在、活用されている施設についても、防犯や安全面で周辺への影響を来たさぬよう、必要最低限の維持補修に留め、大きな改修費用を要することとなった場合は解体を検討する。

6 管理に関する実施計画

特になし。

修繕等の実績及び今後の計画

9ーその他教育施設No.89

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
H29	—	0	
H30	—	0	
R1	—	0	
R2	—	0	
R3	—	0	
R4	—	0	
R5	—	0	
R6	—	0	
R7	—	0	
R8	—	0	
R9	—	0	
R10	—	0	
R11	—	0	
合 計		0	

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

【平成29年度～令和元年度】

【支出】	平成29年度	平成30年度	令和元年度	備考
維持管理費	73	116	84	
修繕費	16	52	22	
光熱水費等	57	64	62	
事業運営費	224	127	136	
合 計	297	243	220	

【収入】	平成29年度	平成30年度	令和元年度	備考
使用料収入				
その他				
合 計	0	0	0	

【利用者等】	平成29年度	平成30年度	令和元年度	備考
利用者数等	549	996	598	体育館利用者数

※修繕費：改修・修繕にかかる費用

※光熱水費等：ランニングコスト

※事業運営費：人件費、運営業務委託費等



90	施設名	旧富根小学校
	部局(課)名	教育部(教育総務課)
	所在地	飛根字高清水304番地
	施設面積	3,230.80㎡
	建設年度	S50

※No.16富根分館含む

1 施設の概要

構造・階数	鉄筋コンクリート造 2階建	台帳価格	574,178,000円
行政・普通財産	行政財産	耐用年数到来年度	S50+耐用年数60年×1.2=R29

2 管理に関する基本的な方針

利用者数等とフルコスト	3,414人 9,459千円	
キャッシュフローと老朽化度	低負担築浅	
基本的な方針	廃止	解体を予定
「基本的な方針の考え方」 平成20年3月に閉校し、校舎は文化財の収蔵庫、体育館は地域住民が活用している。 大きな改修費用を要する場合は解体を検討する。		

※集約・複合化の検討について

老朽化が進んでおり、集約・複合化は検討していない。

※公民連携の検討について（指定管理者制度、公設民営方式、包括的民間委託など）

公民連携は検討していない。

※民間等への譲渡の検討について

譲渡申請があった場合は検討する。

3 目標使用年数 [11～20年以内]

今後の施設の使用期間を10年と見込み、11～20年以内の解体を目標とする。

4 管理上の課題等

老朽化が進捗しており、改修が必要となることが見込まれる。

5 管理に関する実施方針

活用の方向が見出せない施設については順次解体を検討する。
現在、活用されている施設についても、防犯や安全面で周辺への影響を来たさぬよう、必要最低限の維持補修に留め、大きな改修費用を要することとなった場合は解体を検討する。

6 管理に関する実施計画

特になし。

修繕等の実績及び今後の計画

9ーその他教育施設No.90

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
H29	—	0	
H30	—	0	
R1	—	0	
R2	—	0	
R3	—	0	
R4	—	0	
R5	—	0	
R6	—	0	
R7	—	0	
R8	—	0	
R9	—	0	
R10	—	0	
R11	—	0	
合 計		0	

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

【平成29年度～令和元年度】

【支出】	平成29年度	平成30年度	令和元年度	備考
維持管理費	424	443	468	
修繕費	49	42	84	
光熱水費等	375	401	384	
事業運営費	224	127	136	
合 計	648	570	604	
【収入】	平成29年度	平成30年度	令和元年度	備考
使用料収入				
その他				
合 計	0	0	0	
【利用者等】	平成29年度	平成30年度	令和元年度	備考
利用者数等	4,466	3,030	3,414	体育館利用者数

※修繕費：改修・修繕にかかる費用

※光熱水費等：ランニングコスト

※事業運営費：人件費、運営業務委託費等



91	施設名	旧二ツ井共同調理場
	部局(課)名	教育部（給食センター）
	所在地	二ツ井町字下野77-1
	施設面積	645.00㎡
	建設年度	S54

1 施設の概要

構造・階数	鉄骨・鉄筋コンクリート造	台帳価格	98,900,000円
行政・普通財産	行政財産	耐用年数 到来年度	S54＋耐用年数41年×1.2＝R10

2 管理に関する基本的な方針

利用者数等とフルコスト	－ 2,333千円	
キャッシュフローと老朽化度	低負担築浅	
基本的な方針	廃止	解体を予定
「基本的な方針の考え方」 現在、倉庫として活用しているが、今後老朽化による危険性が生じるため解体を進める。		

※集約・複合化の検討について

集約・複合化は検討していない。

※公民連携の検討について（指定管理者制度、公設民営方式、包括的民間委託など）

公民連携は検討していない。

※民間等への譲渡の検討について

譲渡申請があった場合は検討する。

3 目標使用年数 [10年以内]

令和元年度以降の解体を目標とする。

4 管理上の課題等

老朽化が進捗しており、改修が必要となることが見込まれる。

5 管理に関する実施方針

防犯や安全面で周辺への影響を来たさぬよう、必要最低限の維持補修に留め、大きな改修費用を要することとなった場合は解体を進める。

6 管理に関する実施計画

特になし。

実績及び今後の修繕等の計画

9ーその他教育施設No.91

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
H29	—	0	
H30	—	0	
R1	—	0	
R2	—	0	
R3	—	0	
R4	—	0	
R5	—	0	
R6	—	0	
R7	—	0	
R8	—	0	
R9	—	0	
R10	—	0	
R11	—	0	
合 計		0	

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

【平成29年度～令和元年度】

【支出】	平成29年度	平成30年度	令和元年度	備考
維持管理費	0	0	0	
修繕費				
光熱水費等				
事業運営費				
合 計	0	0	0	
【収入】	平成29年度	平成30年度	令和元年度	備考
使用料収入				
その他				
合 計	0	0	0	
【利用者等】	平成29年度	平成30年度	令和元年度	備考
利用者数等	0	0	0	

※修繕費：改修・修繕にかかる費用

※光熱水費等：ランニングコスト

※事業運営費：人件費、運営業務委託費等